

## 「Y-PORT 事業」を通じた企業の海外展開実現を目指して 様々な関係者による対話『共創 Y-PORT ワーキング』を開催しました。

### ～ 公民連携による海外へのプロモーションについて ～

新興国等における都市課題の解決や、市内をはじめとする企業の技術を活用した海外展開の促進に向けて、関係者間の対話の場「第 3 回共創 Y-PORT ワーキング」を開催しました。

平成 24 年 7 月下旬に実施した、横浜市と企業による「セブ市合同調査」の実施結果についての発表や 10 月 29 日から 11 月 2 日にパシフィコ横浜で開催される「スマートシティウィーク 2012」を活用した企業プロモーションについて意見交換を行いました。さらに、アジア開発銀行駐日代表事務所より、アジアの PPP インフラ事業における同行の取組に関して、ご講演を頂きました。

1. 日 時：平成 24 年 8 月 30 日（木） 15:00～17:30
2. 場 所：横浜三井ビルディング 15 階 1502 室（住所：横浜市西区高島一丁目 1-20）
3. 参加数：69 名（民間企業等 51 社・団体）

#### 4. 内 容

情報提供・セブ市合同調査の結果報告  
意見交換等 発表者：横浜市政策局共創推進室国際技術協力課

スマートシティウィーク 2012 について  
発表者：横浜市政策局共創推進室国際技術協力課

アジアの PPP インフラ投資拡大のためのアジア開発銀行の取り組み  
講演者：アジア開発銀行駐日代表 松波克次氏

交流会 参加者による名刺交換等

#### 5. 参加者の意見及びアンケートの結果等

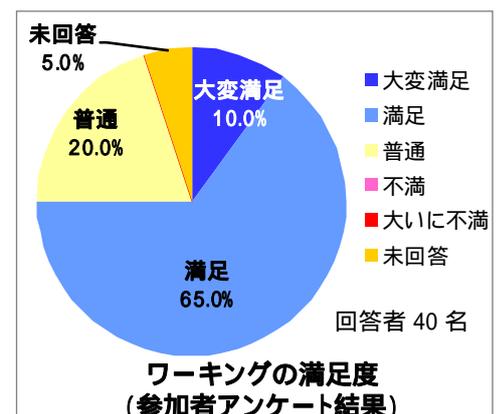
##### (1) 主な意見交換内容

セブ市合同調査に参加した企業から、企業単独での調査と比べたメリットとして、課題を抱える現場を関係者から説明を受けながら直接確認できることや、相手都市の首長や都市開発に関わる意思決定権者等と面会できること、日本企業の技術に関心を持つ多数の現地企業と交流ができることが挙げられました。

一方、参加人数が多いことによる現地関係者とのコミュニケーションに関しては時間的制限があったことや、分野を絞った調査の必要性などの意見も頂きました。

##### (2) 参加者からのアンケート結果

回答者 40 名中 30 名（75%）から、  
「大変満足」・「満足」の感想を頂きました。



## 6. ワーキングの様子



横浜市からの情報提供



横浜市からの情報提供



参加者との意見交換



参加者との意見交換



アジア開発銀行の講演



交流会

## 7. 次回ワーキングについて

次回(第4回)ワーキング開催は12月を予定しており、内容については以下のホームページに順次掲載してまいります。参加受付は開催1か月前を目途に開始する予定です。

共創 Y-PORT ワーキングホームページ URL :

<http://www.city.yokohama.lg.jp/seisaku/kyoso/yport/yport/yportworking.html>

お問い合わせ先

横浜市政策局共創推進室国際技術協力課 中村、正岡 TEL 045-671-4396